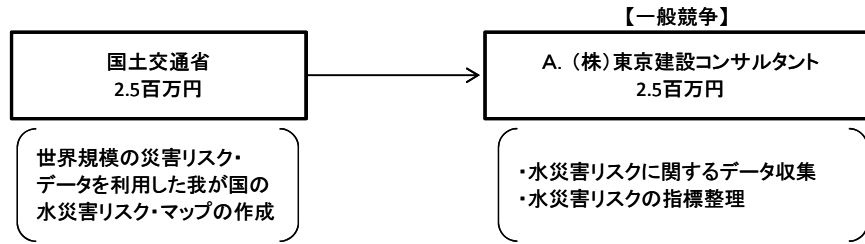


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	国際的な水害対策の高度化に関する調査・検討経費		<b>担当部局</b>	水管理・国土保全局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H24		<b>担当課室</b>	河川計画課河川情報企画室		室長 内藤正彦		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4 水害等災害による被害の軽減 1 2 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	欧米先進国及び東アジア諸国との協同で、気候変動を考慮した水災害対策の計画、実施に係る国際ガイドラインの策定に向けた検討を進めることとしている。この取り組みを通じて、我が国の水災害対策手法の海外への普及を図り、他国の専門的な情報交換を通じて、我が国の河川管理の更なる高度化をはかるとともに、途上国をはじめとする諸外国における水災害被害の軽減に貢献することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	主にアジア・太平洋地域の治水対策が整備途上である国の河川や水資源管理者を対象に、我が国のこれまでの経験、施策、技術を踏まえて気候変化に起因する洪水の強度と頻度の増加に対する適応策の検討手順の枠組みを示す「洪水に関する気候変化の適応策検討ガイドライン」を策定。また、先進国の知見を我が国の河川管理の高度化に活かすことを目的に、日米英蘭の4ヶ国でリスクに基づく洪水管理手法をとりまとめているところ。今後さらに多くの国々の知見を共有し、我が国の河川管理の高度化、途上国をはじめとする諸外国の水災害被害軽減を目指す。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	4	4	4		
	執行額	-	1	3				
	執行率(%)	-	31.3%	69.3%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	洪水による氾濫から守られる区域の割合		成果実績	%	61.5	集計中	集計中	64
			達成度	%	96.1%	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	水災害リスク・マップ作成業務		活動実績(当初見込み)	執行率 %	-	31.3%	69.3%	-
<b>単位当たりコスト</b>	2.5百万円(実績額/箇所数)		算出根拠	成果物あたりのコストを算出				
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水害・土砂災害対策調査費	3.5	-					
	計	3.5	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の水災害のリスクを把握することは国が実施すべき事業であり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、競争性を確保している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は見込みに見合ったものであり、また成果物は十分に活用されている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		一般競争入札を行い、できるだけ安価で目的を達成する努力を行っている。	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		「洪水に関する気候変化の適応策検討ガイドライン」の策定を進める等、一定の成果が見込まれることから、本事業は廃止する。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-		-	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0182

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	水害・土砂災害の防止・減災の推進に必要な経費	2.5			
計		2.5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京建設コンサルタント	水災害リスク・マップ作成業務	2.5	1	93.4%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					